



群馬県立県民健康科学大学

# 看護学教員 養成課程

— 2024 —

*Education Program for Nursing School Teachers*

# 看護学教員養成課程

## Education Program for Nursing School Teachers

科学的根拠に基づく看護学教育の実践に必要な知識・技術・態度を修得し、看護とその教育の充実、発展、革新に向け寄与する人材の育成を目指します。



### 学長挨拶

柏倉 健一 Kenichi Kashikura

本学では、学部・大学院を通じて看護人材養成に取り組む一方で、看護学教員養成課程を開設し、看護師養成校の教員養成を行っています。この課程は、平成24年から、本学地域連携センター事業の一環として実施しているもので、これまでの11年間で、計173名の修了生を送り出しています。修了生は地域の看護師養成機関や医療機関へと戻り、看護師養成校における教育や病院での院内教育などで活躍しています。

本学は、杉森みどり初代学長のころから、日本の看護教育をリードしてきました。こうした伝統のうえにたち、本課程は日本の中でも特色ある教育プログラムとなっています。大学基準協会による大学認証評価においても、きわめて高い評価を受けています。本課程を修了すると、厚生労働省による専任教員養成講習会修了者として認定されます。また、大学院博士前期課程のキャリア開発コースへステップアップを目指すこともできます。



### 地域連携センター長挨拶

廣瀬 規代美 Kiyomi Hirose

看護学教員養成課程は、看護師養成教育機関の教員や臨床現場で教育的役割を担う教育担当の人材育成を目的に、平成24年に地域連携センターに開設されました。本課程の取り組みの一例として、本学の生涯発達看護学実習の教授活動の実際を参加観

察し、実習目標達成に向けた授業設計から教授活動の理解を深めています。また、公開授業を通して課程生の学びに加え、修了生のフォローアップを図る等、幅広く授業を展開しています。

さらに、令和5年7月には、看護学実習指導者養成講習会が開講されます。これは、看護学実習指導者養成講習会、看護学教員養成課程、大学院博士前期課程キャリア開発コースへと学修内容を積み上げ、今後の看護学教育の充実・発展・革新に寄与できる専門的知識・技術・態度を修得する教育環境が整ったことを意味します。本課程は、教育実践力や教育管理者として必要な組織運営力を養うための魅力あるカリキュラムを提供し、看護教育実践の質の向上を目指す皆さんを応援しております。

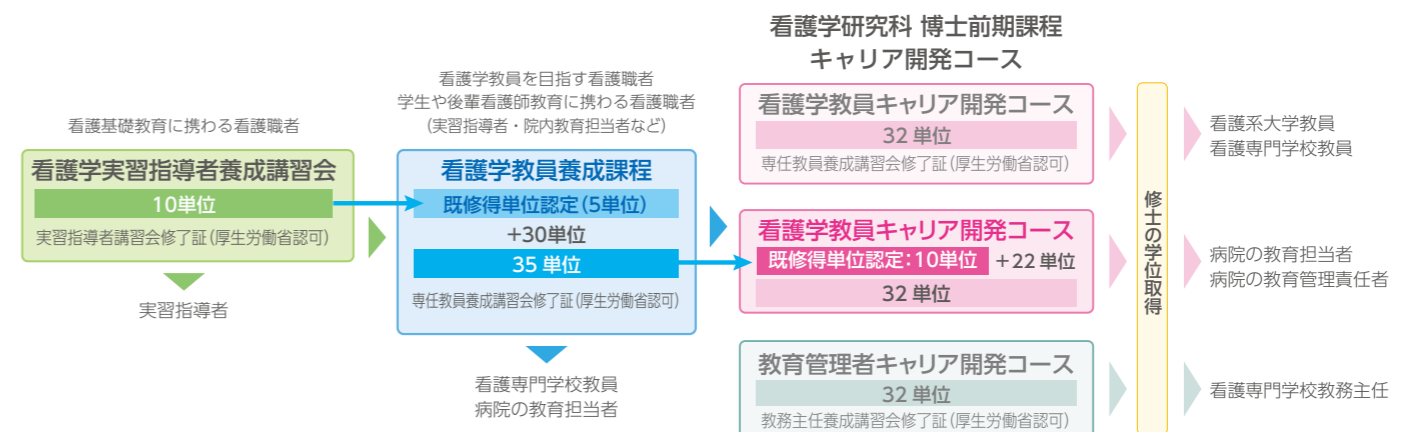
## 特色

群馬県立県民健康科学大学看護学教員養成課程は、2012年に大学の地域連携センター事業として開設され、11年が経過しました。本課程は、大学の教育理念に基づき独自の統合カリキュラムを編成し、教育を展開しています。本課程の最大の特徴は、**大学看護学部の看護基礎教育と連動**している点にあります。看護学部がバックアップ体制を整え、大学の学習環境を最大限に活用して、実際の看護基礎教育の現実を身近に感じられる**ダイナミックな授業**を展開しています。これにより、本課程生は、学修した知識と教育実践とのつながりを持ちながら、1年間学修することを通して、**看護基礎教育・看護継続教育の実践に必要な能力**を着実に修得しています。この能力は、**看護学教員を目指す看護職者**だけでなく、病院の実習指導者や院内教育担当者など、**学生や後輩看護師教育に携わる看護職者**にとって教育実践上の基盤になります。

## 看護学教員養成課程のあゆみ

- 2012年 4月 群馬県立県民健康科学大学地域連携センターに開設される。
- 2018年 4月 大学院看護学研究科博士前期課程「キャリア開発コース」開設に伴い、大学院への進学の道が開かれる(10単位を既修得単位として認定)。
- 本課程は、厚生労働省による専任教員養成講習会の認定を受けています。
- 本課程は、厚生労働省教育訓練給付金(一般教育訓練)講座の指定を受けています。
- 「キャリア開発コース」  
大学や専門学校など看護基礎教育機関の看護学教員として必要な教育実践力、または、教育管理責任者として必要な組織運営力を担える人材の養成を目指すコースです。
- 2019年 公益財団法人大学基準協会による**大学認証評価**において、**極めて高い評価**を受けました。

## 看護学教員養成課程と看護学実習指導者養成講習会・看護学研究科博士前期課程(キャリア開発コース)のつながり



**キャリア開発コース**  
看護師として5年以上の実務経験のある教員のキャリア・ディベロップメントに向け、教授活動力及び組織運営力を開発・発展できる能力の修得を旨とします。研究科に2年以上在籍し、所定の単位(32単位以上)を修得するとともに、必要な研究指導を受けた上で学位論文の審査及び最終試験(口頭試問)に合格することが修了要件です。

## 授業科目と担当教員

分野	科目名	単位数	時間数	担当教員	4月	5月	6月	7月	10月	11月	12月	1月	2月
基礎分野	看護実践と倫理	1	15	金谷悦子 高橋裕子									
	教育実践と倫理	1	15	金谷悦子 高橋裕子									
	情報と教育	1	15	狩野太郎 非常勤講師									
	教育の原理	1	15	非常勤講師									
	教育評価論	1	15	非常勤講師									
	青年期の発達と学習	1	15	垣上正裕 非常勤講師									
専門分野	看護の本質と専門性Ⅰ	1	15	山下暢子									
	看護の本質と専門性Ⅱ	1	15	高橋裕子									
	教員と学生の理解	1	15	山下暢子 河内直美									
	看護学教育制度論	1	15	山下暢子 河内直美									
	看護学教育課程論Ⅰ (カリキュラム編成の基礎)	1	15	山下暢子 高橋裕子									
	看護学教育課程論Ⅱ (カリキュラム構造の理解)	2	30	高橋裕子 非常勤講師									
	看護学教育課程論Ⅲ (カリキュラム編成の実際)	5	135	高橋裕子									
	看護学教育授業展開論Ⅰ	1	15	非常勤講師									
	看護学教育授業展開論Ⅱ (講義)	5	120	松田安弘 高橋裕子						教育	実習		
	看護学教育授業展開論Ⅲ (演習)	3	90	松田安弘 高橋裕子									
	看護学教育授業展開論Ⅳ (実習)※	3	90	松田安弘 高橋裕子						教育	実習		
	看護学教育評価論	2	45	服部美香									
看護学教育研究 (研究成果の活用)	2	45	松田・宮崎 上山・清水 河内・高橋										
看護学教育組織運営論	1	15	横山京子 非常勤講師										

※カリキュラム改正に伴い、2021年度より時間数を変更しています。

### 【主な授業担当教員】

**教授** 松田安弘、山下暢子、狩野太郎、宮崎有紀子、横山京子  
**准教授** 服部美香、金谷悦子、上山真美、清水裕子  
**講師** 高橋裕子、河内直美、垣上正裕

### 【教育担当者】高橋裕子

本課程では、大学看護学部教員を中心に授業を提供しています。また、専任の教育担当者が1年間の学修過程をサポートしています。

※看護学教育授業展開論Ⅱ・Ⅳでは、授業担当教員の指導により、大学、専門学校で教育実習を行います。

## 授業の様子

### 看護学教育課程論



### 看護学教育授業展開論Ⅱ・講義 模擬授業



看護学教育授業展開論Ⅱ（講義）では、看護学の講義の特徴、授業設計とその展開について学修します。また、看護学部学生に提供されている授業を参加観察します。その後、看護学教育課程論とこの科目の学修成果を基に、実際に講義の授業設計・模擬授業を行います。

### 看護学教育授業展開論Ⅲ・演習 模擬授業



看護学教育授業展開論Ⅲ（演習）の講義を受けた後、看護学部学生に提供されている授業をその演習の前提となる講義も含めて参加観察します。その後、看護学演習における「教授＝学習活動」の特徴、学生の主体的学習を促すための授業設計について学修します。また、この学修成果と教育実習での経験を基に、実際に技術演習の授業設計・模擬授業を行います。

## 2024年度 入学者選抜の概要

募集人員	20名
修業年限	1年間(12ヶ月)
選抜方法	「面接」「小論文」書類審査
試験会場	群馬県立県民健康科学大学
第1次出願期間	2023.10.10～11.30
入学試験料	8,000円
第1次入学試験日	2023.12.14
合格発表日	2023.12.20

第2次出願期間	2024.1.10～2.2
第2次入学試験日	2024.2.15
合格発表日	2024.2.21
授業料	250,000円(県内) 300,000円(県外)

※詳細については、本学ホームページをご確認ください。  
 ※2次募集は、上記日程による入学者選抜の結果、入学手続者が募集人数に達しなかった場合に行います。

## 主な年間スケジュール

入学式	4月6日
授業開始	4月10日
公開授業	7月27・28日
夏期休業	8月8日～9月30日

教育実習	10月16日～11月17日
冬期休業	12月25日～1月5日
公開授業	2月2日
修了式	3月25日

私は臨床から教育へと職場が変わり、この看護学教員養成課程に通っています。この大学は、学生として学ぶ環境が整っていて、先生方も学生思いで親身になってわからないことに答えてくれ、もっと学びたいという気持ちになります。先生方の熱い授業に感銘を受けると同時に、自分自身の目標にもなっています。一日一日を大切に、学修を積み重ねていきたいと思っています。

私は教員になったばかりで自分の指導や授業に不安や疑問がありました。教育を基礎から学びたいと思い、この課程に入学しました。看護学教員として必要な教育の知識を日々の学修で深めています。大学の恵まれた教育環境の中で同じ思いを持った仲間との日々も楽しんでいます。卒業後、成長して学生に向き合える気がして楽しみです。

看護学教員養成課程の毎日の授業から、看護学教員は看護師の経験だけでできることではないと実感しています。質の高い看護学教育が提供できるよう、教員として必要な教育の基本を学んでいきたいと思っています。

この看護学教員養成課程は看護学教育に必要な知識・技術・態度を修得するために統合カリキュラムが編成されていて、講義や演習を通して今まで意識していなかったことを改めて学ぶことができます。わからないと思ったことも系統的に授業が計画されているので無理なく理解が深められ、一歩ずつ成長していることを実感できます。



この看護学教員養成課程は、看護学教員になるための学修内容や学修環境がとても素晴らしいと思います。同じ目標を持つ仲間と、グループワークを通して学びを深め合い、年間頑張りたいと思います。

私は、一人一人の学生に効果的な教育を実践したいと思い入学しました。学生の立場になり、同じ目標を目指す仲間がいることはとても心強く、刺激となっていて、新たな看護観が培われているのを毎日実感しています。看護学教員として必要な知識・技術・態度を修得し、効果的な授業ができるよう、常に学ぶ姿勢を忘れず、一日一日を大切に過ごしていきたいです。

毎日経験豊かな先生方の講義を受け、多くの刺激を受け、いろいろな気づきを得ています。これまでの自分の指導には根拠が不足していたので、ここで学ぶことを通して、自信を持って授業ができると思います。不安なこともあります。縁あって出会った仲間と充実した学生生活を送りたいと思います。

24年の看護師経験があるものの、教壇に立ったことはなく、挑戦してみようという思いで、入学しました。課題やレポートなどで久しぶりの自己学修に苦戦していますが、日々新しい学びがあります。ここで出会った仲間と切磋琢磨しながら充実した一年間にしたいと思っています。

私は教員5年目にして、看護学教員養成課程で学ぶ機会を得ました。それまで私は、教育に対して、自信が持てず不安な日々を過ごしていました。養成課程での学修は、どれも新しい気づきがあり、とても興味深いものでした。学修意欲がわくと学修効果が上がるということ、身をもって体験し、毎日ワクワクしながら授業を受けていたのを思い出します。養成課程修了後は、ここでの学修成果を活かして、新カリキュラム編成に主体的に関わることができました。また、講義も以前より自信を持って行えるようになり、自分の成長を感じることができています。

9期生 看護師養成教育機関の教員を継続している S・Sさん

実習指導を経験し、学生とともに成長できる看護学教員に魅力を感じ、東北の地から群馬県立県民健康科学大学の門を叩きました。学習者（学生）が、科学的根拠に基づいた看護を実践できることを目指し、教授者（教員）が授業展開するために必要な知識・技術・態度を学ぶことができました。また看護の本質を見つめ直し、看護観や教育観を養う機会になりました。

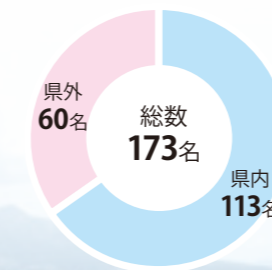
現在は、看護師長の役割を担っていますが、看護学生や新人の指導、後輩看護師の教育に、看護学教員養成課程で学んだ知識・技術がとても役立っています。

9期生 修了後、臨床で看護師長となった T・Kさん

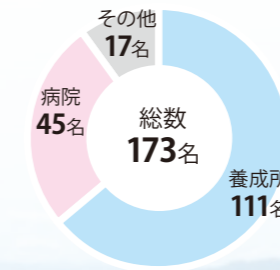


## 修了生の状況

修了生数



入学時就業先



県外  
埼玉県、栃木県、長野県、新潟県  
富山県、石川県、福島県、山形県  
岩手県、宮城県、青森県、三重県



## ■ 学生募集要項(願書含む)の請求方法

群馬県立県民健康科学大学看護学教員養成課程までご請求ください。  
ホームページからもダウンロードできます。

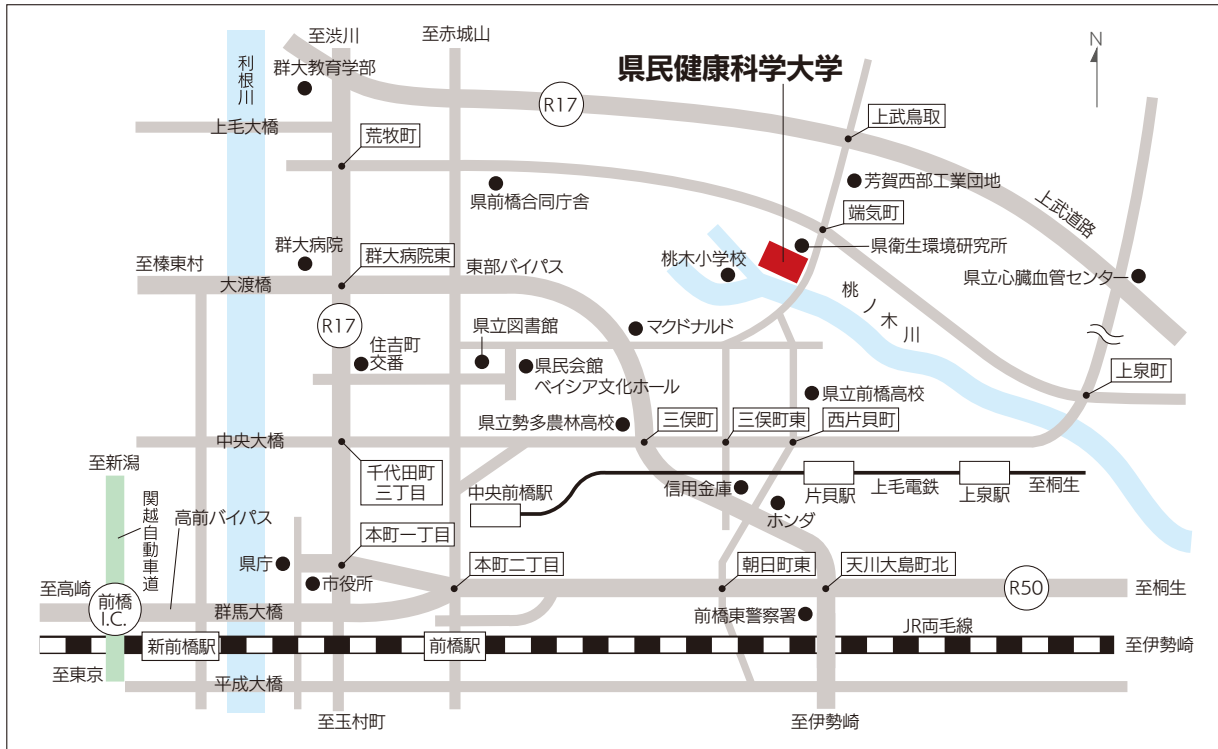


# 群馬県立県民健康科学大学

Gunma Prefectural College of Health Sciences  
看護学教員養成課程



〒371-0052 前橋市上沖町323-1 Tel.027-235-1211 Fax.027-235-2501  
URL <https://www.gchs.ac.jp> E-mail: [kyouinyousei@gchs.ac.jp](mailto:kyouinyousei@gchs.ac.jp)



## access

### [公共交通機関]

- JR「前橋駅」北口6番乗り場、永井バス小坂子、または荻窪公園行き「県民健康科学大学前」下車
- 上毛電鉄「片貝駅」から徒歩約15分

### [自動車]

- 関越自動車道前橋I.C.から約20分